

洛東園だより

■平成28年4月発行 社会福祉法人 洛東園
■発行責任者／西村 英亮
■〒605-0981 東山区本町15丁目794
■電話番号／561-1171 ■FAX／531-8372
■ホームページアドレス <http://www.wf-rakutouen.com>



ご挨拶

陽春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。今年も、この洛東園だよりが皆様に届く頃には洛東園のある大本山東福寺海蔵院内の立派な桜の木がきれいな花を咲かせてくれていることと思います。お近くに寄られた際には、ぜひお立ち寄り頂ければと思います。

さて、今日、人口減少社会の到来や独居高齢者の増加、虐待の深刻化などを背景に、高い公益性と非営利性を備えた社会福祉法人の役割が、ますます重要になってきています。

社会福祉法人制度改革を中心とした社会福祉法等の一部を改正する法律案が審議となり、社会福祉法人が社会の信頼と支持のもとで、今後も社会福祉の主たる担い手としての役割を果たしていくことができるよう、今まで以上に襟を正し、より一層、自律的な組織となって、経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務

等にしっかりと取り組んでいくことが求められています。

新年度におきましても平成28年度事業計画に基づいて、社会福祉法人の責務である社会福祉事業に係る福祉サービスの供給確保の中心的役割を果すとともに、公益的活動、生活困窮者等に対する積極的な支援、他の事業主体では対応できない様々な福祉ニーズを充足することにより、地域社会に貢献して参りたいと考えております。

また、社会福祉法改正に伴う運営体制等の見直しにも滞ることのないよう、適宜準備を進め、各事業の運営状況を逐一把握して経営基盤の強化を図り、社会福祉法人としてるべき確実、効果的かつ適正な運営を行って参りますので、今年度も皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

次項に平成28年度社会福祉法人洛東園運営・事業方針および取り組み目標を掲載させて頂いております。ご意見葉書を同封させて頂いておりますので、ご意見等頂ければ幸いに存じます。

洛東園の理念

- ◎個性・自主性を尊重し、明るい温もりのある生活
- ◎安全と快適な暮らし
- ◎地域に根ざした開かれた施設

平成28年度 社会福祉法人 洛東園 事業計画・取り組み目標

法人理念	1. 個性、自主性を尊重し、明るい温もりのある生活	2. 安全と快適な暮らし
方針	職員個々が保健医療分野も含み自らの成長と研鑽に励み、法人運営の安定及び介護サービスの成長を目指す	
法人全体目標	1 東山区地域包括ケアシステムへの参画・認知症初期対応への参加 2 法人経営のガバナンス強化（社会福祉法改正に伴う運営体制の見直し） 3 認知症対応、在宅医療連携を含むサービスの質の担保を図った人材育成と人材確保（きょうと福祉人材育成認証制度の上位認証取得に向けての整備） 4 社会福祉法人としての地域における社会貢献、公益的な活動、生活困窮者に対する積極的支援（京都市高齢者すまい・生活支援モデル事業、配食サービス等） 5 福祉避難所としての体制強化 6 経費の縮減による各事業運営の効率化推進と時間外労働の縮減の徹底	【事業計画】 ・29年4月から実施と ・職員健康管理の実施 ・養護老人ホームの新築、 ・小規模多機能サービス ・介護プロフェッショナ ・訪問看護事業の新規開 ・定期監査の実施（内部 ・法人季刊誌発行
【管理部目標】 ・経営会議での法人運営検証 ・各種会議・委員会の意見集約および活用		・社会福祉法改正に伴う運営体制等の見直し ・職員の待遇改善や労働環境の
		全事業所共通目標
養護老人ホーム		法令遵守の徹底 運営規定の遵守 職員の資質向上に向けた研修体制の整備 地域貢献
特別養護老人ホーム 洛東園		高齢者虐待の予防と早期発見、早期対応 介護事故予防、減少に向けた取り組み 感染症対策の周知徹底 身体拘束の廃止
特別養護老人ホーム 修道洛東園		多職種協働による褥瘡予防 職場の環境整備（時間外労働の減少） 職員腰痛予防 介護技術の習得、向上
デイサービスセンター (介護予防型通所介護・ 一般型通所介護・ 配食サービス)		資格取得への努力 各種研修会への参加（内・外） ケアプランの理解・実践 医療的ケア研修への参加
認知症対応型通所介護		経営安定への努力 交通事故防止
ホームヘルプサービス		セクシャルハラスメント防止 パワ - ハラスメント防止 経費節減
給食部		1 全体：高齢者が満足される食事づくりと選択メニューの継続 栄養状態における利用者の栄養改善 2 養護：料理教室 3 特養：利用者の栄養状態及びADLの維持を目的とした生 4 在宅：嗜好調査の継続及び調査結果の反映 利用者の栄養 5 栄養課及び職員の資質向上 6 衛生管理：委託業者によ
洛東園診療所		1 利用者の意思決定を支援し、利用者中心の看護を提供する 3 教育体制の充実を図り、看護水準の維持・向上と看護職員 6 具体的取り組み：安全で質の高い看護の提供 人材育成と
居宅介護支援事業所洛東園		1 運営基準の遵守 2 ケアマネジメント過程における基本 医師会・関係事業所との連携強化
地域包括支援センター		1 地域での支援ネットワークの強化：新たな体系での地域ケ インフォーマルサービスなど地域課題への対応 地域包括 2 認知症等の要援護高齢者支援の充実：成年後見制度の利 認知症サポーター養成講座等の開催を通じて、認知症への
地域介護予防推進センター		1 二次予防対象者事業：二次予防対象者（ハイリスク）の発 (通所型)プランに基づいた生活環境や運動の取り組み状況 2 介護予防普及啓発事業：介護予防を日常的なものにするた 3 地域介護予防活動支援事業：地域で行う住民主体での
小規模多機能サービス もみじの家		1 介護サービスの質の向上：風通しの良い組織づくり センター方式を活用による生活歴、個別ニーズを把握した 非常災害対策 事故予防 4 職員の質の向上：研修参加・
洛東園研修センター		1 介護職員等喀痰吸引等研修の実施（年2回） 2 京都府並 4 喀痰吸引等研修指導看護師要請研修及びフォローアップ研

3. 地域に根ざした開かれた施設

なる新しい介護予防、日常生活支援総合事業に向けた円滑な準備 (ストレスチェック制度の実施)	【職員の行動指針】 ・洛東園の職員であることに誇りを持つ ・利用者・来客・職員間の挨拶をする
一般型特定施設移行の検討 もみじの家の移転検討	・身だしなみを整える ・整理、整頓を行う
ルキャリア段位制度アセッサー・外部評価審査員の養成と活用 設、運営及び地域連携の構築 及び外部) ・ホームページによる広報	・姿勢を正しく保つ ・自分の健康を保持する ・学ぶ意欲を高め、維持する ・チームワークを大切にする ・リスクマネジメントを常に意識して行動する
整備等を含む職員雇用の安定・多様な働き方の検討	【各種会議、委員会の実施】

各事業所取り組み目標

環境改善 2 経営安定への努力：年間を通じた利用者定数の確保 ケアマネジメントによる外部サービス利用へのスムーズな移行
確保・育成と質の高いサービスの実現：現任教育についての見直しと現任者の資質向上 業務改善による働きやすい職場環境づくり

症ケア・医療的ケア・看取りケアの充実 介護機器（リフト）・福祉用具を活用した介護の実践 住環境の改善
3 利用定数の確保：空床利用の積極的活用 医療連携・介護技術向上による入院者の減少 緊急措置入所の受け入れ
な受け入れ 5 地域活動・実習生の受け入れ：実習生等体験実習の積極的受け入れと養成校との連携 実習生への指導力向上
の資質向上 ケアカンファレンス・フロアミーティングの充実 定期的な自己評価
2 ユニットケアの理念と意義を理解し、利用者のあたりまえの暮らしを各職種で考え協働し、自律的な日常生活が営める支援を目指す
4 社会福祉法人として地域に貢献できる施設を目指す：地域行事への参加 防災体制の拡充
當を継続する：優先入所枠の常時検討と迅速な受け入れ 誤嚥性肺炎予防と疾病の重症化予防による入院者減少

医療ケアの充実 2 認知症ケアの向上：認知症利用者への初期対応と地域、関係機関との連携 3 経営の安定
総合支援事業への移行に伴う新たなプログラムへの計画と実行：個々の要望に沿ったプログラム活動の充実
しての機能の充実
献
理解の働きかけ、運営推進会議の運営・開催 3 経営の安定

話力、介護技術の向上 研修への積極的な参加 働きやすい職場づくりに向けた業務改善
に基づき、自立支援や個別性を重視した訪問介護計画書の作成と理解、実践 3 地域や他職種との連携強化
擁護、虐待防止に関する支援
続 嘔下食及び機能維持のための取り組み 災害等の非常時における給食提供時の備蓄食材の確保とガイドラインの確認
の継続及び内容の充実 介護予防を視野に入れた利用者の栄養状態の保持・向上を促す取り組み 嗜好調査結果の反映
活全般を見据えた栄養ケアマネジメントの実施 おやつレクリエーションの継続と利用者の役割作り
アセスメント及び健康管理 行事・レクリエーションを通しての作る・食べる楽しみの提供と定期化
る衛生（厨房・食品）及び感染症予防についての管理と迅速な対応
2 継続学習を推進し、可能な限り高い水準の看護、安全で安心な看護を提供する
の定着を図る 4 地域医療・地域介護のチームの一員として、多職種と連携・協働を図る 5 法人の運営に営業的に参画する
自己啓発・研鑽の推進 業務改善と活気ある職場づくり 看護実践力の开花 法人経営への積極的な参画
姿勢の構築 3 地域包括支援ネットワークの構築への協力 地域ケア会議への出席 研修計画に基づいた研修への参加と評価

ア会議（日常生活圏域・個別・地域福祉組織）の推進・充実 医療と介護をはじめとする多職種協働の推進
支援センターの機能の充実及び運営の質の維持・向上 地域での相談・見守り体制の充実
促進のための制度の普及・啓発及び利用支援 虐待の早期発見・早期対応 認知症の初期段階での対応の充実
理解を地域に働きかける 認知症等の徘徊対応の仕組みづくり 単身高齢者全戸訪問事業の実施 地域における見守り体制の推進
見と取り組みへの啓発 サポーターの協力による参加の継続に向けた支援
を重視した個別指導 29年度より実施予定の総合支援事業への転換（訪問型）状態改善による一次予防事業対象者施策への移行
めの普及啓発 東山区11小学校区の地域性を踏まえた普及啓発
介護予防活動の支援と総合事業へのスムーズな移行 4 重点地域：粟田学区 重点項目：65歳からはじめる介護予防
年2回の家族交流会等の開催 運営推進会議の開催 サービス自己評価と外部評価の実施 総合マネジメント体制強化加算
個別ケア計画作成 2 地域福祉の拠点化：地域行事への積極的参加 3 快適で安全な環境づくり：環境整備 感染症対策等
資格取得支援 職員個別の研修計画の作成・評価 コストを意識した収益向上 業務改善 5 利用者の確保：定員増加の工夫
びに他登録研修機関との連携維持、要請に対する積極的応援 3 喀痰吸引等研修委員会・安全委員会による業務円滑化推進
修の参加 5 実地研修委託医療機関との連携・情報交換

地域紹介

今熊野商店街の空き店舗を活用したコミュニティホールでは、火曜日と金曜日の朝、ラジオ体操に取り組む人たちがいます。

誰でも、歩いて来られる人なら参加できます。座って行う体操もあり、いすの用意もされています。9時30分になるとラジオ体操第1、第2が始まります。その後引き続き聞きなれた音楽に合わせた体操や、京都市歌（みなさんご存知ですか？）を使った体操などを行い30分ほどで終了します。



お話を聞きした日は、最低気温0度という、この冬一番寒い朝でしたが、10名の方々が集まり体操に取り組んでおりました。

Aさん

「家にいてテレビ見て、じーっとしてたら、体が固まってしまう。歩いて来るだけでも、体にええと思って参加してます。」

Bさん

「ここは、雨が降っても中止にしなくてもいいし。商店街の並びのガラス張りの会場でしょ。通行する人に、見られてると思ったら、自然に力も入りますよ。(笑)」

参加されている方の表情は明るく、楽しみながら体操に参加されている様子がうかがえます。体操が終わった後、皆で会場の片づけをしながら「今日は、そこのスーパーで玉子98円やで。」「えー、そら急がな、売り切れるで。」なんて会話が飛び交うのも、ここならではの楽しみのひとつのように思います。

(記：小泉 瑞枝、梅原 幸子)



ボランティア紹介

朗読ボランティア

●山本一郎さんのプロフィール

アナウンサー歴30年以上でニュースや企業ナレーションをされる。

地下鉄烏丸線のアナウンスなど、様々な仕事を経験。そのキャリアを生かし、4年前からアナウンサーとして初めて高齢者・福祉施設を中心に『朗読ボランティア』を開始。今まで120以上の施設での朗読ボランティアを行い、最近では、セミナーや講演も行い、活動の幅を広げておられます。



- デイサービスでは、利用者さんを前に朗読ボランティアが行われました。山本さんが音響機器等を持参され、準備も全て行われました。100以上のプログラムがある中、この日の朗読テーマ『京都の水、今昔物語』では、琵琶湖疏水や渡月橋など、昔の写真をスライドショーで見ながら、聴き心地よいナレーションと、音楽に合わせて歴史を振り返りました。懐かしい写真を見て、利用者さんは「へえー。」「そうそう。」とうなづかれたり、「懐かしいわねえ。」と他の方と話されていました。

好評です。
別の朗読テーマ
おせんについて
は、昔の台所
ぶ台を紹介します。
こちらも大



「川柳コーナー」では雰囲気が
ガラッと変わり、今大流行の「シ
ルバー川柳」を面白おかしく読
みあげます。

● インタビュー

Q 朗読ボランティアをされるきっかけは?

『私は30年以上プロのアナウンサーをしてきました。60歳になってから、知り合いにボランティアの話を聞き、プロのアナウンサーが朗読ボランティアを行う事は初めてだと思い、面白そうだと思って始めたのがきっかけです。当初は小説を読んでいましたが、あまり評判が良くなくて…その後「映像」と「音楽」を組み合わせてみるととても評判が良かったんです。ちなみに、映像も音楽も僕が編集しているんですよ(笑)。』

Q 朗読ボランティアのやりがいは?

『利用者さんに喜んで頂き笑顔になられる事にやりがいを感じています。朗読ボランティアをどう喜んで貰えるか、また利用者さんの励みになるものを考える事が、私のライフワークになりましたね。朗読だけでなく、川柳コーナーやクイズコーナーも始めて、とても好評なんですよ。1月も年明けから連日様々な施設さんにお呼び頂き、とても有り難い事です。』

Q 最後に一言

『利用者さんと触れ合う中で、色々な事を学ばせて頂き、本当に「生涯学習」だと思います。これからもプログラムや活動を広げて行きたいと思います。』



全て自前の道具です。「とても面白かつたよ。ありがとう。と言って頂けるのが本当にうれしいですね。」

(記:吉田 聰一郎、山口 美佳)

サークル紹介

～平成27年12月に発足した
洛東園のサークル活動を紹介します～

フットサル・・・サッカーの4分の1ぐらいの
大きさのコートで、5対5でプレーするサッカー
に似たスポーツです。

F.C 洛東園 (F.C=フットサル.サークル)

洛東園には様々なサービス事業所があり、敷地を共有している事業所もあれば、立地が異なる事業所もあります。その為、同じ法人の職員でも会議以外で職員同士が関わり合う機会は多くありませんでした。

このサークルが発足される前、洛東園の職員が個人的に数名でフットサルをする機会があったそうです。その活動がきっかけで、「職員同士の懇親や健康の増進を目的とした、サークル活動を洛東園で行っていきたい」と多数の声があがり、『F. C 洛東園』が発足されました。

初めてのサークル活動では、14人の職員とその家族が参加しました。この日は洛東園が定めるノー残業デイの日でもあり、業務が終わってから参加する職員も多数いました。

「これまで全くフットサルを行ったことがなく一度してみたかった」、「最近体を動かしていないから健康のために頑張ります」、「洛東園で働いているけど中々他の事業所の職員とお話しをする機会がなかったので」など、参加した動機はそれぞれ異なるものの、皆で一緒に汗をかき、楽しくフットサルを行うことが出来ました。



このサークル活動を通して、これまで以上に職員同士の横のつながりや結束を深めることができました。

まだまだ発足したばかりの『F. C 洛東園』ですが、今後も参加者を募り、職員の運動と交流の場として、活動していきます。

(記：堀江 佑子、中井 功二)



～旬の野菜～ 春のタケノコについての紹介

春の食べ物といえば、やはり『タケノコ』。竹の成長はとても早く、タケノコとしておいしく食べられる時期は短く、このため、漢字の『タケノコ』は10日間を意味する「タケノコ」に由来します。日に当たったものほどアクが強いため、土から顔を出す前に掘るのが望ましく（地面が盛り上がっているのを見分けて掘ります）、また「湯を沸かしてから掘れ」と言われるよう、採取後時間が経つほどアクが強くなります。新鮮なものであればアク抜きせずに直接焼いて食べるととても美味しいです。水煮の内部に白い粉のようなものが付いている場合がありますが、これはアミノ酸の一一種チロシンの結晶で、無害です。



タケノコの下ゆでの手順

1. 皮つきのまま穂先の部分を斜めに切り落とし、さらに切り口から皮の部分を縦半分に1本の切れ目を入れます。
2. たっぷりの水にぬか2カップと赤トウガラシ2~3本を入れて強火にかけ、沸騰したら落としぶたをして、弱火で1時間以上ゆでます。
3. 根元に竹串がすっと通るようになったら火を止め、ゆで汁の中でそのまま冷やします。
4. 冷めたらよく水洗いし、切れ目から皮を開くようにして皮をむきます。

※ゆでた後、すぐに水にあげると、タケノコにひびが入ったり、身が縮んでしまうことがあります。

※ゆでるときにぬかを入れるのは、タケノコのえぐみ成分がぬかに含まれるカルシウムと結合して中和されるからです。カルシウムの多いわかめとの炊き合わせが良いのもこのためです。

洛東園の人気タケノコ料理ベスト3

今回は養護老人ホーム、デイサービスの利用者さんにアンケートをとりました。

1位 タケノコご飯 2位 タケノコの煮物 3位 タケノコの天ぷら

その他、木の芽和え、佃煮などもあり、「タケノコでしたら、どんな料理でも好きです。」との回答もありました。

(記：高田 由加里、北川 曜司)

委員会紹介

安全衛生委員会

安全衛生委員会の取り組み

- ①腰痛予防体操を実施し、腰痛を起こさない。
新規腰痛発生ゼロを目指し、毎日予防体操の実施。
- ②労働災害ゼロの職場。
潜在的リスクの撲滅と安全意識向上を図る。
- ③職場の環境を整える。
園内パトロールを行い、指摘事項を各部署に配布し、改善を図る。

介護を行う時は腰を屈める姿勢になることが多い、腰痛を起こしやすい体勢になります。洛東園でも腰痛を発症する職員がいた為、25年11月より全職員を対象に腰痛予防体操の実施を推奨しています。各職員が勤務前に腰を伸ばすストレッチを行ったり、休み明けや勤務開始直後など腰痛が発生しやすいとされる時間帯の身体の動かし方の注意点などを伝え、新規腰痛発生ゼロを目指しています。

園内パトロールって？

安全衛生委員会として園内の衛生管理の状況把握の為、月に1回全館巡回パトロールを担当2名でしています。



パトロールの留意点としては、危険箇所や修繕を要する箇所はないか、不用品が放置されていないか、整理・整頓・清掃が徹底されているか、環境温度・湿度・臭い、各部署の冷蔵庫内の点検、消毒液の使用期限、休憩室の環境などを点検しています。

園内パトロールにおいて気になる指摘事項があれば、パトロール指摘事項用紙に指摘内容を記載し、該当部署に報告して改善に努めています。

(記：名和野 美幸、小笠 友子)

寄付・寄贈

【寄付金】池田 敏治様 【寄贈品】春田 宝子様 京都日吉ヶ丘ライオンズクラブ御中

ありがとうございました。

寄付・寄贈順

洛東園では見学、実習やボランティア等、
隨時受け付けております。
お気軽にお問い合わせください。

洛東園だより

発行／社会福祉法人 洛東園

〒605-0981 東山区本町15丁目794
電話番号：561-1171 FAX：531-8372
ホームページアドレス
<http://www.wf-rakutouen.com>

※記事中の写真は全てご本人、ご家族の了承を得て掲載しております。

洛東園の行事予定			
施設名	月	4月	5月
養護老人ホーム		お花見会	食事会
特養 洛東園		お花見ドライブ	菖蒲湯
修道洛東園		お花見散策	家族交流会 (家族参加行事)
デイサービスセンター (一般型)		お花見レクリエーション	こいのぼり作り
(認知症対応型)		お花見外出	壁画作り
もみじの家		お花見外出	端午の節句
全体			お茶会、音楽療法

その他、クラブなども隨時行っております。